

12月議会 一般質問

12月議会の一般質問で主張したかった事を要約したいと思います。
実際のやり取りはQRコードを読み込んで頂き動画でご確認下さい。



有害鳥獣について



【市民からの声】

イノシシが増えて農業被害が出ている。市街地にも出没。電気柵だけでは抜本的な対策にはならないので駆除して欲しい。

【電気柵の設置状況】

- ・市内の農地に電気柵を設置する場合には資材費の2分の1（上限10万円）を助成
- ・飯岡地区（38か所13400m）海上地区（2か所500m）干潟地区（1か所100m）

【駆除方法】

銚海猟友会に委託 駆除実績・・・（R2→12頭）（R3→6頭）（R4→10頭）

【狩猟免許取得補助】

- 初心者狩猟講習会受講料補助 10000円 ○狩猟免許試験申請費用の補助 5200円
- 千葉県猟友会より 18000円（猟友会に所属する事が条件）自己負担は2000円

☆思う事☆

・イノシシが市街地にも散見されるようになった。事故や被害が出る前に対策を講じる必要がある。電気柵で防御しながら、イノシシが住みづらい環境を維持しつつ、適正数を駆除する。いずれにしても一軒ずつの対応では問題解決にはならないので地域で協力していく必要があると思う。行政にはそのお手伝いをお願いしたい。余談になるが捕獲したイノシシの肉をジビエとして有効活用できないものだろうか。

ふるさと納税について



【ふるさと納税のルール】

令和5年10月よりルールが厳格化された。

- ①返礼品＝寄付額の30%以内 ②返礼品＋経費（送料・手数料等）＝寄付額の50%以内
- ③返礼品は地場産品でなければならない

【当市の取り組み】

- ・PayPay電子商品券→地場産品基準を満たしている店舗で使用可能（飲食・釣り船・宿泊施設など）
- ・ロケを誘致する取り組み→10月4日に放送されたテレビ番組の中で「日本一おいしい返礼品」に旭市のハマグリが選ばれた。放映された10月のふるさと納税は去年の3.4倍、金額としては3113万円と増加した。

☆思う事☆

・ふるさと納税の寄付額を増やすためには魅力的な返礼品を増やすことの他に、当市の知名度とブランド力を上げていく必要がある。メディアに取り上げられるための戦略としてロケツーリズムが昨年始まり徐々に結果も出てきた。もう一つは取材をしたくなるようなイベントや人物を積極的に発信していく必要がある。試行錯誤しながら一歩ずつ模索していきたい。

学校再編について



【再編までの流れ】

- ①学校のあり方検討委員会（学識経験者・校長代表・保護者代表・地域代表 等）
↓
- ②策定委員会（副市長・教育委員会代表・学識経験者・保護者代表・地域代表・市職員 等）
↓ ↑策定委員会で『基本方針』が作られる
- ③説明会・アンケート（各学校ごと）
↓
- ④地域検討会議（各学校ごと→保護者代表・地域代表・学校教育関係者・福祉関係者・青少年育成関係者）
↓
- ⑤代表者会議（統合校ごと→各地域検討会議から代表 25名以内）
↓ ↑統合の可否や学校の位置は出席者の3分の2以上で決まる
- ⑥準備委員会（制服・校歌・通学方法など詳細を決める

【干潟地区】

小学校は3校が合併して古城小の校舎を利用する案で⑤代表者会議まで進んでいる。仮称北中学校の方向性が決まっていな事に不安があるようだ。基本方針では古城、中和、万歳、共和、琴田で一つの中学校となっているが合併の可否や学校の位置などで難航する可能性もありそう。

【飯岡地区】

飯岡小学校と三川小学校が統合して飯岡中学校を使うという案で③説明会・アンケートまで進んでいる。大きな反対は今のところないが小中一貫校を望む声も保護者からあがっている。中学校は海上中学校と飯岡中学校が合併して海上中学校の校舎を利用する案で③説明会・アンケートの段階だ。こちらも小中一貫校を望む声が飯岡側からあがっているが、大多数は基本計画通りで仕方ないと思っているようだ。反対の声は今のところ大きくはなっていない。どちらにしても関連があるので一括して進めていかなければならない。

【地域の声】

飯岡地区から中学校が無くなってしまふ事への懸念の声がある。ただでさえ過疎化、高齢化しているのに学校がなくなれば新しく飯岡地区に住もうとする若者は激減する事が予想される。

☆思う事☆

・策定委員会で作られた『基本方針』で良いかどうかを地域検討会議と代表者会議で話し合われる。もし『基本方針』以外にしようという意見が多数になった場合は代表者会議で否決してから見直しとなるそうだ。できればA案、B案がある段階でアンケートを取って欲しかった。その結果を踏まえた上で『基本方針』が作られていれば「自分たちの声が届いていない」という不満も少なかったと思う。しかし、過ぎた事をグチグチ言っても仕方ないのでこれからの事を考えたい。

今回の学校再編で一番大事なのは『子ども』の学習環境だと思うが保護者の利便性も少しは考えなくてはならない。再編によって犠牲になる地区があるならスクールバスや細やかな送迎システムなどの配慮を忘れてはいけないと思う。生徒数の減少や財政面の関係で学校を減らさなくてはならないのは全ての市民が理解しているし反対はしていない。実際、基本方針以外の案を望んでいる保護者も5年後は当事者ではない場合が多い。しかし、子ども達のために少しでも良い方法はないかと提案している。行政側からしたら負担が増えて大変になると思うが丁寧に進めていって頂きたい。

もう一つは地域住民の不安に対して何か対策が打てないか考えている。飯岡地区なら観光や海関連の移住に力を入れていくべきだと思う。みなと公園に観光スポットを作り、海岸線には別荘やサーファー向けの住宅が立ち並ぶエリアにできないだろうか。ポジティブに取り組んでいきたい。



お金の話

12月議会に議員報酬（期末手当）を上げる議案が出されて可決しました。私は立候補する時に議員報酬と議員定数は減らすべきだと主張していましたのでこの議案に反対しました。ただのパフォーマンスだと思われる方もいらっしゃると思いますので理由を述べたいと思います。

まず基礎情報ですが、議員の報酬は月額34万円です。6月と12月には期末手当が支給されますが、今回の議案で議員報酬の4.4か月分→4.5か月分に変更になりました。月額報酬と期末手当を合わせると年額報酬580万円くらいになります。その他に政務活動費というモノがあります。年間21万円で議員活動に必要な経費の一部として交付されます。これは領収書が必須です。使わなかった場合には返還します。この『永井見聞録』にかかる費用の一部にも政務活動費を使わせて頂いています。

本題に入ります。私は議員報酬が高過ぎると思っています。いろいろな人に伺っても「高い」という意見の方が多かったです。中には「もらった以上に働けばいいじゃん」とおっしゃってくれる方もいますが、2年間一生懸命活動してきましたが年額580万円以上の働きをしたかと問われると自信がありません。ですと何の理由もなく議員報酬（期末手当）を上げる事には賛成できませんでした。

これから何か新しい事業をやるためには、安定的な財源を確保するか既存の何かを削る必要があります。その時に自らの報酬に対して厳しくなければ理解は得られないと考えています。ただでさえ生産年齢人口は減少するので税収も減っていくと予想されます。そんな中で安易に議員報酬を上げるべきではありません。金額は微々たるものですが、その考え方が改革を阻害している気がしてならないのです。「他の自治体も上げているから」「一般職の公務員も上げるからついでに」「去年も上げたから」・・・。そういった慣行や前例踏襲からの脱却が必要ではないでしょうか。市政を変えるには小さいことからコツコツとやっていくしかありません。限られた財源の中では選択と集中をするべきです。今は議員報酬を上げる選択はいりません。これから予算を厳しく審査するためにも自分の報酬を上げるべきではないと思い反対しました。今後も頂いた報酬以上の働きができるように頑張ります。

もう一つは政治と金の問題です。市議会レベルですと裏金やらキックバックなどはないように思います。少なくとも私みたいな小物にはそういった話はありません。政治資金パーティーには2回行きました。招待状に2万円とかかかれています、それが斜線で消されて『ご招待』となっていました。そう書かれていても本来なら2万円を納めるのだと思うのですが、右も左もわからなかったので手ぶらで参加してしまいました。食べ物や飲み物はないのでパーティーというよりも講演会みたいな感じです。選挙で応援してもらって資金的にも支援されたらシガラミでガチガチになりそうですよね。今の政治は金がかかり過ぎです。数千万円もかかるような選挙では若い人は出馬できないですし、政党にがんじがらめにされたマリオネットみたいな人材ばかりになってしまいます。これからは政治資金の透明化と、金のかからない選挙にしていく必要があると思います。

『遊歩道が綺麗に』

飯岡漁港から灯台に繋がる遊歩道が整備されました。今回は漁港側から真ん中までですが綺麗になり、手すりも付きました。津波避難道にもなっていますので上半分も整備して頂けるとありがたいです。



『給食に有機米を導入する取り組みを視察』

千葉県いすみ市は学校給食を全て有機米に変え給食費も無償化しています。そういった取り組みが移住者増加、地域のブランド力アップに繋がっています。規模や実情が違うのでそのまま旭市に取り入れる事はできませんが、他市との差別化は大事だと思います。時には思い切った政策が必要です。



『海業の視察』

神奈川県三浦市に視察をさせて頂きました。飯岡漁港を有効活用するための手順やヒントを学ぶことができました。三浦市公民合同で大きな事業を進めています。市、県、国、漁協、民間、地域住民が力を合わせれば出来るはずですよ。市には前向きに検討して頂き旗振りをお願いしたいです。

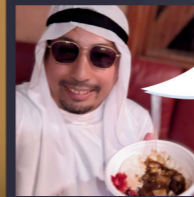


ワンポイント報告

- ①建設経済常任委員会に配置されました
- ②東総衛生組合委員に任命されました
- ③議長が飯嶋正利議員に、副議長が遠藤保明議員に代わりました
- ④尿酸値が6.8に下がりました
- ⑤5月12日に飯岡漁港でイベントをやるために準備中

この討議資料は議員個人が発行しております。ご意見、感想、苦情などがございましたらお気軽にご連絡下さい。この資料に関する市役所へのお問い合わせはご遠慮下さい。

議員任期の半分が経過しました。あと2年で議員生命が終わるかも知れませんので悔いのないように全力で活動したいと思います。



アサヒヲ タノシイ
マチニ シタイデス

令和6年2月 第10号



先輩に「おまえも普通の議員になっちゃったな・・・」と言われた。変な議員に戻れるように頑張ります

発行元

旭市議会議員

永井孝佳

〒289-2706

千葉県旭市下永井574-1

090-9332-1632

bbnagai@yahoo.ne.jp